

フランスワイン専門誌 LA REVUE DU VIN DE FRANCE MARS 2023

The image shows a bottle of Le Roc Fronton wine, labeled 'Don Quichotte', standing in front of a collage of pages from the March 2023 issue of 'La Revue du Vin de France'. The magazine's logo is visible in the top left of the collage. The pages feature various articles, including 'La verticale', 'Derrière le vigneron', 'Le domaine Le Roc', and 'Le fronton chevaleresque'.

ドメーヌ ル ロックの 特集記事が掲載されました！

内容は裏面をご覧ください

※ヴィンテージ、価格など記載されている情報は 2023 年 4 月時点のものです。



ドメーヌ ロック

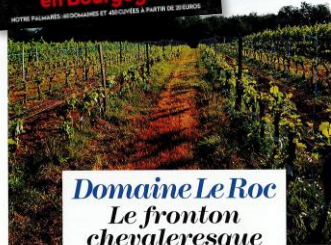
DOMAINE LE ROC

トゥールーズの北に位置するフロントンで、リブ家がこのアペラシオンを代表するブドウ品種である
ネグレットを強く守り、また、意欲的な白ワインも生産しています。

—「ラ ルヴュ デュ ヴァン ド フランス 2023.3/No.668」より



「ラ ルヴュ デュ ヴァン ド フランス」
No.668/2023 年 3 月



À Fronton, au nord de Toulouse, la famille Ribes défend avec force le cépage emblématique de cette appellation du Sud-Ouest, la negrette. Et produit aussi un blanc ambitieux. Revue du Vin de France



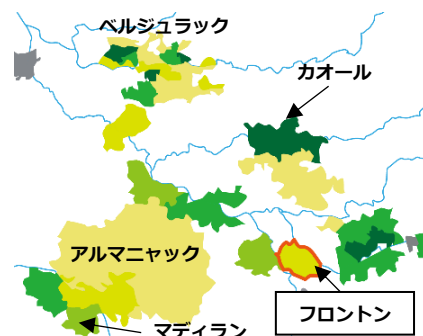
凛々しいフロントン

と題して5ページにわたり、特集記事が掲載されました！

リブ家のワイン造りの歴史は、アルジェリアからの帰国後、1974年にフロントンの土地を購入し、協同組合に参加したことからはじめます。そのため、2人の息子、ジャン-リュックとフレデリックが引き継ぐまで醸造は行わず、協同組合に葡萄を売っていました。ジャン-リュックは葡萄栽培、フレデリックは醸造の担い手として腕を磨き、フレデリックの妻であるキャシーは、まさに家族経営のワイナリーのビジネスを支えています。醸造学の学位を持つフレデリックは、その厳格さと熱意でアペラシオンに携わり、その会長にもなっています。ネグレットの猛烈な保護者である彼は、シカレックス社とともに、将来を見据えてこの葡萄品種の遺伝的多様性を保護するための施設を設立しました。それでもなお、改善策や時には挑戦的なアイデアを模索することを止めません。彼は「コレクティブ・ネグレット」に参加しています。「コレクティブ・ネグレット」は、有機栽培やHVEを行うワイン生産者12人が集まり、技術交流や最高の区画の探索を行う、いわば、クオリティ・クラブのようなものです。(中略)

ジャン・リュックが引退し、甥のグレゴワールが葡萄栽培を、フレデリックの娘のアンヌがセラーに携わり、二人でワイナリーを引き継いでいます。この新しい世代はエネルギーに満ち溢れており、“Les Petits Cailloux du Roc”を造るなど、見事な引き継ぎを果たしています。

「ラ ルヴュ デュ ヴァン ド フランスNo.668」より抜粋



ドメヌ ル ロックは、南西地方の AOC フロントンの中心、ガロンヌ川とタルン川の間に位置する家族経営のワイナリーです。この土地の土着品種ネグレットを中心に、個性的なワインを手掛けています。38ha の畑を所有し、年間約 15 万本のワインを生産しています。

弊社では、ドメヌ ル ロックのワインを、1999 年～2005 年にかけて輸入していました。ジャン-リュックが手掛けていた頃のワインは濃密で力強いスタイルで、その当時も高品質ではあったものの、やはり知名度の低さからなかなか定着せず、残念ながら継続を断念しました。あれから 17 年が経ち、彼らのワインをもう一度取り扱うことは出来ないだろうかとコンタクトをとりました。当時、18ha だった畑面積は 2 倍以上、38ha にも広がり、新たなラインナップが増えていたこと、また新たな世代であるグレゴワールとアンヌが活躍していることを知りました。そこで、彼らのこだわりのワインをテイastingし、もう一度挑戦する価値があると判断しました。栽培を担当するグレゴワール、醸造を担当するアンヌという新たな世代が入ったことで、ジャン-リュック時代のパワフルなスタイルとは異なり、より現代的でソフトな質感、味わい深さが感じられるスタイルに変化しています。



「父の時代からの変化についてはたくさんの理由がありますが、一番はやはり気候変動が挙げられます。ワインのアルコール度数は、20 年前より 1.5% は上がっています。それはつまり、ワインのバランスが変わってしまったということです。父は醸造に関することについて全て教えてくれるので、父とたくさん話をして、毎年新しいことにチャレンジするようにしています。4 年前には、葡萄の梗を残して醸造してみたところ、新しい味わいが生まれることが実感できました。今も色々なことを試行錯誤しています」とアンヌは話してくれました。

「畑で多くの仕事をするのが、私たちの哲学です」

1981 年からオーガニックに近い栽培を行ってきました。2022VT から公的認証 (AB) がつくようになります。畑の畝と畝の間には草を生やしています。冬の間は、飼育している 50 頭の羊を畑に放しています。羊に草を食べてもらうことで、科学的な除草剤を使用せずに自然なやり方でカバークロップの量をコントロールしています。「この羊の放牧については、同じエリアの他の生産者がやっていないことで、私たち独自の取り組みです。私たちの哲学は設立当初から何も変わっていません。生き物すべてを尊重し、自然環境に配慮したワイン造りを目指しています。この土地は自分達だけのものではなく、より良い自然環境を保ちつつ、次世代に引き継いでいくべきだと考えています。畑では出来るだけ多くの手をかけ、反対にセラーではなるべく介入しません」とアンヌは話します。



日々の作業は年によって異なります。雨が多い年は、夏の間に房の周りの葉を落とし、葡萄が乾くようにします。一方、暑い年は逆に葉を残して、強い日照や熱さから葡萄を守るようにします。フロントンの土着品種ネグレットをメインに、シラーやカベルネ ソーヴィニヨンからワインを造っています。また、少しのロゼワインとロゼのスパークリングワイン (ペット ナット)、そして少量の白ワインも造っています。畑は 3 つのエリアに分かれており、それぞれ土壌タイプが異なります。異なる 3 つのテロワールから、それぞれの特徴を持ったアロマの異なるワインを造ることができます。収穫は若い葡萄の区画や特定の区画は手摘み、それ以外は、機械で行います。葡萄は完熟の状態収穫し、丁寧にセラーに運びます。集約のあるワインにするため、長い時間 (4~5 週間) をかけて発酵させます。また発酵はすべて葡萄の果皮についている天然酵母で行います。赤ワインはすべてコンクリートタンクで発酵させてからプレスしています。発酵・熟成させる数ヶ月の間、それぞれのタンクの温度をチェックして、ワインの状態についてモニタリングしています。このように、醸造では出来る限り介入しないことによって、テロワールがしっかりと表現されると考えています。



ドメヌ ル ロックのフラッグシップ

“ドン キョット”

垂直試飲特集も掲載

2019VT

Les vins à attendre

期待できる(待つべき)ワインとして紹介



94
/100

熟した果実やスパイシーな果実のノート、花のようなタッチの香り。豊かな口当たり、美しいタンニン、甘草のようなフィニッシュ、トーストのニュアンスがあります。長く持続性のあるワインです。期待したい。

「ラ ルヴュ デュ ヴァン ド フランス 2023.3」より

ドン キョット 2019

Don Quichotte

ネグレットにシラーをブレンドすることでいかに良いワインが出来るかを証明するために、A.O.C.の規定の限界(シラー40%以下)までシラーの比率を上げて造ったのがこのキュヴェです。地元の新聞にも取り上げられ、ネグレットとシラーを合わせることで素晴らしいワインが出来ることを周囲に知らしめました。難題に果敢に挑戦する姿を周囲の人々が「まるでドン キョーテのようだ」と言ったことから、ワインの名前となりました。

小石を多く含むブルベヌ(小石、砂利、砂、シルトの混ざる土壌)の複数の区画の葡萄をブレンドしています。葡萄の果皮についている天然酵母を使い、それぞれの品種は別々に開放式のコンクリートタンクで25~28度に温度管理しながら4週間発酵させます。途中で、ピジャージュを行い、アロマやタンニンを抽出します。20hLと400Lの樽で18ヶ月熟成させます。ろ過も清澄もせず瓶詰めします。

<その他評価> ★「ル ギド アシェット デ ヴァン 2023」1星

【赤・フルボディ】国/地域等：フランス/南西地方/A.O.C. フロント

葡萄品種：ネグレット60%、シラー40%

熟成：20hLと400Lの樽で18ヶ月

品番：FC-500/JAN：4935919315005/容量：750ml

¥3,520(本体価格¥3,200)

De vigne en cave
Domaine Le Roc

La verticale de la Cuvée Don Quichotte

Les vins à attendre

2019 Des notes de fruits mûrs et épicés, une pointe florale au nez. Bouche ample, avec une belle architecture tannique, une finale réglissée, sur des notes grillées. Un vin long et rémanent. Attendre.

2018 Un nez plus frais, avec des notes mentholées, de la rose; joli fruit en bouche, avec un équilibre aimable, sur le fruit et les épices, une trame fine, des tanins bien satinés.

On peut ouvrir

2016 Un nez ouvert, sur le fruit un peu grillé, avec des notes poivrées. Bouche bien ouverte, avec un fruité encore jeune, des tanins fondus, une finale sur le fruit.

2015 Nez aux senteurs de pruneau, de cerise noire, avec des épices exotiques, curry; bouche structurée, profonde et concentrée, avec de beaux tanins mûrs, veloutés, une finale complexe.

2014 Nez sur des notes menthées, d'asperge; bouche fraîche, tendue, avec des tanins aromatiques, bien allongée.

2012 Le nez est plus évolué, mais avec de la netteté: fruits cuits, tapenade. La bouche se montre svelte, avec du tonus et une finale sur des notes mentholées. La syrah prend le dessus.

2011 Nez ouvert, avec des notes épicées, poivrées, de la complexité; bouche élégante, avec une aromaticité fraîche, des tanins fondus, une allonge sur la jeunesse de fruit.

En pleine maturité

2010 Très aromatique, avec des notes d'eau-de-vie, de rose, de fruits exotiques; très complexe, avec une bouche riche, expressive, sur son plateau de qualité. Un vin intemporel, très personnalisé.

2009 Très mûr: pruneau, cacao, fleurs séchées. Gras et velouté, il dévoile un style un peu sudiste, une architecture tannique présente mais sous-jacente, très fondue. Finale aromatique, sur le fruit mûr.

2006 Belle aromaticité secondaire, avec des notes de sous-bois, fruits un peu grillés, épices, vernis. Bouche expressive, avec du fruit évolué, des tanins encore présents, avec des épices.

L'âge de la complexité

2000 Nez sur des notes montantes de cépe, coriandre, avec une évolution positive. Bouche très lissée, élégante, encore jeune. Un joli vin de gastronomie.

1998 Le nez est complexe, avec du cacao, des notes de sous-bois, mentholées, une vraie identité. Bouche aromatique, légère, avec des tanins satinés.

1996 Joli nez tertiaire très ouvert, des notes de pinède, romarin, séveux; bouche très expressive, avec un bel équilibre entre fruit et tension, jolie présence tannique encore jeune.



92
/100

La Revue du Vin de France 2023.3 /No.668
「ラ ルヴェ デュ ヴァン ド フランス」

黒い果実の香りに甘草のニュアンスがあり、口当たりはしなやかで、とてもアロマティック、なめらかなタンニンが特徴です。納得出来る品質をもったワインです。

「ラ ルヴェ デュ ヴァン ド フランス 2023.3」より

ドン キョットと同様、ネグレットにシラーをブレンドしたキュヴェ
タンニンはしっかりとあるもののバランスの取れた味わいです

レ プティ カイユ デュ ロック 2019
Les Petits Cailloux du Roc

スパイシーでエレガントなアロマがあります。口に含むと繊細なタンニンが感じられます。非常にバランスが良く、余韻にはペッパーや香り高いスミレの花のニュアンスが漂います。フロントンの土壌は 3 段のテラスから構成されていますが、このワインの畑は 2 段目と 3 段目のテラスにあり、堆積土と砂利、小石、シルトの混ざるブルベージュと呼ばれる土壌と礫質で構成されています。9 月第 3 週に収穫します。果皮についている天然酵母を使い、開放式のコンクリートタンクで 25~28 度に管理しながら 3~4 週間発酵させます。その間、ピジャージュします。コンクリートタンクで 18 ヶ月熟成させます。清澄はせず、軽ろ過して瓶詰めします。

<その他評価> ★「ル ギド デ メイユール ヴァン ド フランス 2023」90 点

【赤・フルボディ】国/地域等：フランス/南西地方/A.O.C. フロントン

葡萄品種：ネグレット 70%、シラー 30% 熟成：コンクリートタンクで 18 ヶ月

品番：FC-498/JAN：4935919314985/容量：750ml **¥2,310**(本体価格¥2,100)



90
/100

La Revue du Vin de France 2023.3 /No.668
「ラ ルヴェ デュ ヴァン ド フランス」

チェリーやカシスなどの黒い果実の美しい香りに、ハーブのニュアンスも感じられます。果実味、ソフトなタンニン、スパイシーな余韻があります。気軽に楽しめるネグレットとしてふさわしいワインです。

「ラ ルヴェ デュ ヴァン ド フランス 2023.3」より

ネグレット 100%で造られる、ドメーヌ ル ロックらしい個性を持ったワイン
繊細なアロマとしなやかな飲み口が楽しめます

ラ フォル ノワール ダンバ 2020
La Folle Noire d'Ambat

「アンバ」は、ネグレットの畑の名前です。ブラックチェリーや繊細な花の豊かなアロマが広がります。口に含むと豊かな個性が感じられ、ベルベットのようにしなやかなタンニンがあります。土壌はブルベージュ（小石、砂利、砂、シルトの混ざる土壌）で、表土はルジェと呼ばれる粘土シルト、さらに酸化鉄を多く含む粘土も見られます。平均樹齢は 20 年です。開放式の小型タンクで 25~28 度に温度管理しながら 2 週間発酵させます。20hL の樽で 8~10 ヶ月熟成させます。清澄はせず、軽ろ過して瓶詰めします。

<その他評価> ★「ル ギド デ メイユール ヴァン ド フランス 2022」91 点

【赤・フルボディ】国/地域等：フランス/南西地方/A.O.C. フロントン

葡萄品種：ネグレット 熟成：20hL の樽で 8 ヶ月~10 ヶ月

品番：FC-499/JAN：4935919314992/容量：750ml **¥2,420**(本体価格¥2,200)